

日三廿月三

常磐新聞

定価 一月五元 三月十五元 半年三十元 一年六十元
 廣告費 五字一円 十字二円 二十字三円 三十字四円 四十字五円 五十字六円 六十字七円 七十字八円 八十字九円 九十字十円 百字十一円
 印刷所 常磐新聞社 印刷部 電話 六二〇番

個人主義より人格主義へ (三)

—平町十三日會講演筆記—
 帝國大教授 深作安文博士

人格は常に或るものが加つて行かねばならぬ常に+Xでなければならぬ、即ち文化人は自己の人格を新生に打開して行かねばならぬ新しい思想を加へ常に+Xによりて益々新しい生に變つて行かねばならぬ。然し唯根底のない變化ではないそこには一貫性といふ事がなければならぬ決して心の中軸は變らない生の根軸は不變である、一貫した生の根軸に+Xが常に加はり、新生を打開して行かねばならぬ。犯罪者が五年十年の犯罪を自白する様な事はその犯罪者に一貫性があるからである。

又人格生活には過去、現在、未來の人格生活がある、その人格生活の中で思想行為を創作してゐる、それ故人格生活は歴史生活であるといふ得る、動物の生活は一時的のものなり、一回生活である、今日の生活が明日の生活とならないのが動物生活である。

我々の生活は過去の生活が現在の生活となり現在の生活は未來の生活となる、現在には過去の國家生活の指導

原理を現實に求める、それは國家生活が堅實である事は過去の堅實なる國家生活の原理を求めるからである現在人格の指導原理を過去に求める事によりて堅實なる國家生活が出来る、吾々人格の所有者が深き反省の態度を以て社會生活に入り自我創作をする、それが即ち社會創作である。

自我創作即社會創作
 東郷大將が日本大海戦に於て立派に大勝した、それ

ノート

果物を食べると皮膚が綺麗になると云ふのは便通を良くするからだ便秘は皮膚を汚くし吹出物を作る因だ

は個人より見れば自我創作であるが之を國家社會より見れば日本を創作してゐる即ち社會創作なり、この行為が我國に於て最も大切で必要なるものである、又個人といふ方面より見ても修養の極致である。

次に社會發見といふ事であるが歐洲大戰の結果各國は非常なる疲弊を來し經濟

上困難を來し或は歐洲大戰の傷を蒙り經濟交戦の復興を叫ぶに至つた、即ちそれ社會發見なり、そうした社會を人格と關係づけて振起せしめねばならぬ。

社會とは數多の個人が寄せしめねばならぬ。

明日の献立
 【朝】すまし汁、もやし、白子乾
 【晝】ごまあへ、大根、こんにやく、薄うちはす
 【晚】焼肴：鮮魚、人參、あちやら煮

り集つてこしらへたものであつて而も全体的精神が發生し且永續性を持つ團體である、故に個人以前には社會は無い又一度出來た社會は永續性を有してゐる、國家は最高完全なる社會なり故に自我創作、即國家創作である、そうゆう行為に吾々は出なければならぬ。

常磐文藝
 櫻草 窪田志朗

常にみぬ櫻草をば日だまりに水くれてみん休日にして近き日に咲き出たなむ櫻草の蕾大きく微笑しけれ

あか／＼と西陽障子にはいよりにこの部屋ぬちの明るくあるも

近火御見舞御禮

昨日近火の際に早速御馳付け消火に御盡力被下且つ御見舞を辱し御蔭を以つて類焼を免れ候段厚く御禮申上候實は一々拜趨御禮可申上の處混雜の折柄乍略儀紙上を以つて御禮申上候 敬具

三月二十二日 順不同

平土木監督所

平町團體事務所

酒井醫院
 酒井國三郎 電話五五番

大和田醫院
 耳鼻咽喉科 大和田郡司 電話一七〇番

二葉印刷所
 熊謙次郎

久保田ムメ

久保田パンヤ

磐城共濟病院
 電話六四一番

雛人形道具 特價賣出し

久月特製たばこ人形や古代風人形類を陳列致しました。どうぞ御一覽下さい御待して居ります。

平三丁目 金太郎玩具店

藤沼醫院

内科・小兒科・花柳病科
 入院需應 平町紺屋町 電話五〇七番

新學期の裁縫用具は ハジモトヤへ!

女學生用カバン 澤山入荷しました。

田町 ハジモトヤ糸店 電話十四番 (少年店員募集)

雛人形道具一式 特價大賣出し

古代並に現代人形特作品豊富陳列御客様本位大勉強是非御來覽御用命を……

平町四丁目 スガノヤ提灯店 電話九五番

酒の品評會

入賞者が決定

石城酒造組合主催の新酒喇酒品評會は去る十八、九の兩日平務署樓上に開催し、臺稅務監督局小出技師が審査長となり審査の結果廿一日左の如く發表即日褒賞授與式を行つた

- △優等(小錦)高久鈴木喜
- △一等(稻妻)植田古川傳
- △(平玉)平馬目玉彌(澤ノ井)高久鈴木兵十郎
- (伊勢盛)江名近藤吉松

平地方で食べた

肉代五萬千圓也

▽……昨年一ヶ年中に

平屠畜物の昨年中屠殺数は合計二千四百六十一頭、肉量四萬五千六百十四貫、價格五萬千五百八圓で最も多いのは豚の千九百九十九頭(二萬三千七百二十八圓)次は馬の三百五十七頭(八千七百三十圓)牛は百三頭で馬より少ないが代金は流石

農民の血涙史(2)

往時を想起

二回目の疏水工事が失敗に終つたのを見て、農民は全く失望のどん底に打ちのめされて仕舞つた、そして此の爲めに、既灌民が背負つた借金の額は勸業銀行のみに丈でも實に廿萬圓を算するに至り、是れが解決に先祖傳來の田畑を賣る

一小學校に於て青沼町長臨席の下に舉行され主事會我直治氏の告諭、町長の祝辭訓練所生代表山口正明君の答辭等あつたが受賞者左の如くである

- (優等賞)吉田勝彌 古川新次郎 薄葉孝一 佐藤政雄 新井照男 岡田定次郎 大和田一二 八木要吉 高木義明 海老原十七郎 小野照行 鈴木泰久 龜岡貞雄 大谷大

震災地義捐金は

豫定額を突破か

既に八百七十九圓に達す

既報平町役場の三陸地方義捐金募集は其後材木町の二十五圓二十錢、長橋町の三十一圓八十錢、月見町の十圓等總額八百七十八圓九十錢に達し豫定の千圓は間もなく突破されると見られて居る

青訓の

受賞者

昨夜卒業式

既報平青年訓練所卒業式及び修業式は昨夜七時より第一小學校同窓會、二十七日

者、夜逃げ同様に他地へ

移住する 者等が將基

倒しに續出した、時の代議

士星一氏が此の窮亡を見る

に忍びず明治四十四年債權

者たる勸業銀行に農村の浮

沈に關する大問題であるか

ら適當な緩和の方途を構じ

て貰ひ度いと折衝を開始し

たが

既に此時に借金は利

息が利息を生んで、元利四

十萬といふ巨額に達して居

た、血涙をしぼつて縊々陳

本社長の講演

本社

長川崎文治氏は昨日午後一時より開かれた神谷村小學校同窓會に招かれ滿洲談を爲し來る二十四日は赤井第一小學校同窓會、二十七日

情した星氏の熱誠は流石の

勸銀を動かし、結局借金は

廿六萬圓に切り詰められ、

それを

無利子で 一ヶ年二千

八百圓宛、明治八十四年迄

に返還する事に依りて解決

する事の契約が成り一先づ

農民達は幾分なりとも借金

返しの苦惱を緩和する事が

出來たのであるが明治八

十四年といひば昭和十五年

迄であつて

仲々容易 な事ではな

平第一珠算優勝者

清水少年一人が満點

平第一小學校にては去る二十日第十九回珠算競技會を開催したが満點は高等科二ノ一清水久吉君唯一人で各學年の入賞兒童は左の如くである

(尋五)安藤光男 關内弘

い、斯して鮫川江筋組合な

るものは萬里の長城の如き

失敗の築堤の跡を恨めしく

眺めて、借金濟しに汲々と

してのみ存在する組合とな

つた、然るに大正八年

財界好況の波に乗つ

て各處に泡沫會社が雨後の

筈の様に續出するに際し、

灌漑民の借金苦に乘じその

血をすゝり骨迄しやぶらん

とする利權魔が突加瓜を磨

いて、襲ひかゝつて來た。

(續)

農村更生

澤田教授講演

石城郡農會では明廿三日午前九時より神谷小學校に於いて農事講演會を催すが講師は東京農業大學教授澤田五郎氏で『新興日本に於ける農村更生』と題する講演がある

蓄産組合總會

石城郡蓄産組合では本月廿九日午前十時より團體事務所にて評議員會一年後一時よりは總代會を開き八年度豫算其他を協議する

平町人事

△番匠町三二 當時東京市王子區上十條町四四三淵

△杉平一九 當時茨城郡猿島郡古河町一三三四山崎利夫(一ツ)

出火御見舞御禮

前略今般出火に際しては早速御座付消火に御盡力被下且つ御丁寧なる御見舞を忝うし御厚禮申上候烈風の折柄延焼の多かるべきを苦慮致し居り候處各位の敬活なる御活動に依り延焼範圍の擴大を免れ候段御厚志の賜と奉熱謝候今回の大事に關しては今更ら申譯次第も無之唯々恐縮至極に存じ只管謹慎罷在り今後は此事に反省して家中一同一層注意を喚起仕べき信念に御座候間何卒舊來の御交誼賜り度く混雜中に付乍略儀不取敢御詫勞々御禮迄如斯に御座候 勿々

昭和八年三月廿一日 福島縣平町字仲町通 山田文一

謝近火御見舞

署長 小田部秀雄

△一丁目三三 岡島三郎氏

△一丁目三五 東京市荒川區尾久町四丁目一四六

八奥山英雄氏二男素弘

△一丁目三三 岡島三郎氏

△(三)埼玉縣大里郡玉井村字新堀村上シゲ(二七)

△石城郡小名濱町中明神町

一三小林久雄氏(三三)十

五丁目十五奥山チヨ(三

五)

△舊城跡一三 國府田保良

(四〇)

△杉平一九 當時茨城郡猿

島郡古河町一三三四山崎

利夫(一ツ)

禁書

【禁書上演及映畫】

第二百九十六席

悟道軒 圓玉 演
近藤 紫雲 畫
佐々木 見山

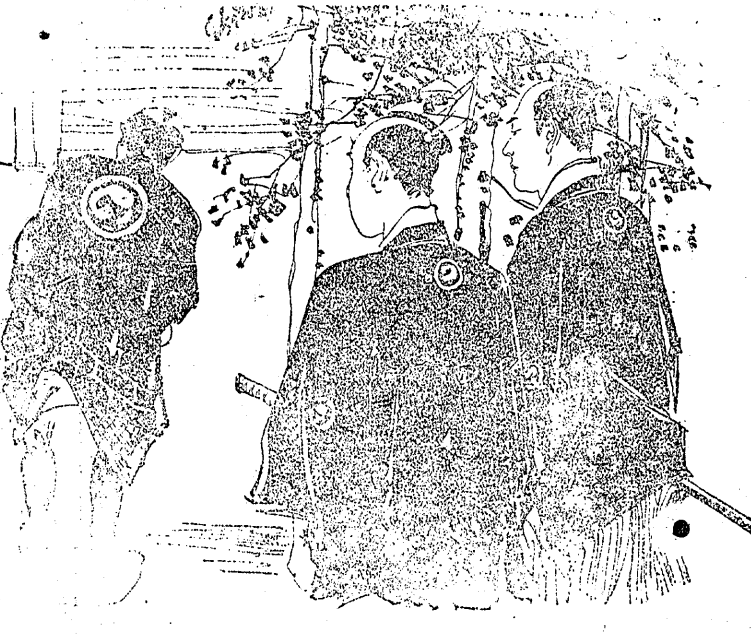
馬を返してくれ
回向院に山城嵯峨の釋尊が御開張について曲馬の見世物が大當り、太夫は小きんに小兼といふ美人、日に三度位客の入れかへをする、今一つ打出して樂屋に入つた二人が白粉を洗ひ落して華奢な縮緬の袖小袖を引掛け湯呑に酒を飲んでゐたが小きんが姉さんで小兼が妹小兼「オイ兼さん今日は早くしまつて晩に淺草へでも遊びに行かう」

小兼「それは有難いことなんぞうまい物を食べさせておくれ、あ、何うしたんだか今日は大層疲れたよ……なんだね爺イヤ」
と云つたが其時搦手をしながら入つて來たは小屋の小使ひ久太

久太「夫さんおまへさん方にお目にかゝりたいと云ふ旦那をお伴れ申しました」
小兼「何んだえわたし達に會ひたい人を伴れて來たとなんだえ其奴は」

久「お侍様でございます」
小兼「いやだねこの人はなんだつてそんな者を伴れて來るんだよ遠國から來た勤番侍だらう女の無い國で生れた様に時々そんな馬鹿野

郎が會ひに來るがうるさいねわたしが白粉を拭いた紙などをうれしうに持つて行つてキザな奴だよ今太夫は手がふさがつてゐると云つて斯つておくれ、田舎侍だからお金の遣ひ方も知ら



ずもつとも馬の餌にもならぬほどの米をもらつてゐる人間だ錢の無えのも仕方がないが横柄な奴ばかり、斷つておくれ」
久「イエエ立派なお侍様でございます言葉も江戸の調子でござんす話をしてもよくわかります」

小金「さうかえ江戸っ子ならば會つてやらう、此間おまへが伴れて來た人は大層雪の降る方から來た人だと云つたが些かとも言葉がわからなかつたね、わたしはあの人は唐の人間かと思つたよ」
久「今日伴れて來たお侍はよくわかります、是非太夫さんにお目にかゝつてお話ししたい事があると申して居ります」
小金「さう此方へ伴れて來ておくれ兼ちゃんやお客さまだとサ」

松「あゝ左様か、ところでお話し申したい事があつて參つたが實はなんだてあの二頭の馬は殿様の御秘藏の逸物だ、我々ども拜借いたし飛鳥山に花見に參つた處各々に出會ひ酌量いたしたあまりにあの馬を興へたが只今も申す通り殿様の御乗馬ゆゑどうぞ返して下さい……」

小金「何を云ふんですね且那お前さん方はお侍さまだよお武家は舌を二枚に遣ふは恥でございますよ、一旦わたし達に呉れて置いて返してくれなどとはお侍さまには似合はないことだ、お氣の毒だが返すことは出来ませんよ、ねえ兼ちゃん馬を返す事は出来ないうえ」
小兼「使つてゐる馬だから返せないよあの馬は殿様のお乗かゝる」
松「左様御秘藏の御乗馬でござる斯うなつたも我々の落度ではあるが御乗馬をお前方に取られて我々その申わけに腹を切らねばならぬどうぞこの邊をお察し下さりて馬を戻して貰ひたい」
小金「オヤまあ馬を持つて行かないと腹を切るの痛いだらうねお氣の毒さまこうしませう殿様を伴れて來て下さい殿様が頼んだならば返しませう」

と云つてゐる處へ入つて來たは松崎采女に渡邊金彌それを見ると小きんが小「オヤまあ旦那方でございますか先達は失禮いたしました、あなた方から頂いた馬を今使つて居りますよ近頃はよく慣れましたねわたし達の三ふ事をよく聞

てくれ」
小金「それでは斯うしませうわたしの兄さんがね一ツ目向ふにゐますから其處へ行つて話しておくんない兄さんが返せと云へば今日にもお前さん方にあの馬を渡しますよ、ちよいと久太さんお前御苦勞だがお二人を兄さんの所へ伴れて行つておくれ」
と書ひ付けた

目 丁 二 町 平

三井タクシ

番 五 八 六 話 電

一冊の代金で
御希望通りな
五冊の雑誌が
自由に讀める
川崎 回文庫
電六三〇番
申込次第(規則書進呈)

現出のシンミ國愛

世界類
にき

特價一臺金參圓五拾錢

家庭裁縫の簡易化

一般家庭に於てミシンの便利重要なる事は皆さんの御承知の通り其の需要を要求してりましたが從來のミシンは數十圓數百圓の高價の爲め一般家庭用として購入出来ませんでした今般斯界の大家田島先生の數ヶ年の苦心研究によつて斯く大衆向の愛國ミシンの完成され然も突飛的の定價にて從來のミシンと遜色なく便利で各御家庭には必ず常備として一臺なくてはならぬ様になりました。本機の使用方法是極めて簡單で御子様方でも三十分位の練習で自由に和洋の御仕立が出来ます(御注文は代引又は前金に願ひます。送料實費)

●外交員募集

平 驛 前
石城郡下代理店 マルカ
多賀郡 店主 加藤 正 保
電話 三二番

おひな人形陳列會

東京、埼玉各地一流人形師の作品を賑々しく陳列致しました。是非一度御覽下さい。

優秀品で値の安い

二丁目

フクダヤ際物部

門 專

産 婦 科
花 柳 病 科

◎入院隨意

井坂醫院

平町田町 電話五五九番